

第 72 回 応用森林学会大会

研究発表プログラム

令和 3 年 11 月 20 日（土）

オンライン開催

応用森林学会
THE SOCIETY OF APPLIED FOREST SCIENCE

第 72 回 応用森林学会大会

学 会 会 長： 徳地直子

大会実行委員長： 徳地直子

大会実行委員： 坂野上なお、徳地直子、長島啓子、中西麻美、長谷川尚史、
古田裕三、松下幸司、吉村真由美（五十音順）

会 場： オンライン開催

主 催： 応用森林学会

共 催： 一般社団法人 日本森林学会
一般社団法人 日本森林技術協会

会 期： 2021 年 11 月 20 日（土）
発表資料の掲示と質疑応答は 11 月 22 日（月）17 時まで

参 加 費： 研究発表参加費 2,000 円（学生は無料）
総会出席 無料

大会事務局： 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学フィールド科学教育研究センター
第 71 回応用森林学会大会事務局
T E L：075-753-6431（総務担当）
E-mail：afs72meetingoffice@aplforsci.jp

日程表

	挨拶・総会・ 研究発表「Zoom」	研究発表 「発表資料掲示」
11月20日 (土) 午前	10:00- 開会挨拶、 進行説明等 [掲示] 11:00-12:00 総会 [Zoom]	
12:00-13:00 休憩		
11月20日 (土) 午後	13:00-13:45 研究発表 [Zoom]	13:00- 研究発表 [発表資料掲示]
11月22日 (月) 午後まで	-	11/22 17:00 まで

大会に参加するには

大会に参加するには、事前にお送りするアクセス ID とパスワードを使用して、大会特設サイトにログインしてください。アクセス ID とパスワードは、参加申込者のみ配布するものですので、取り扱いに注意してください。

口頭発表（希望者のみ）は、Zoom ミーティングで行います。大会特設サイトにログイン後、該当のミーティングルームに移動して口頭発表の視聴ならびに口頭での質疑応答に参加できます。

総会に参加するには

総会は、Zoom ミーティングにより行います。総会への参加申し込みをした会員には、事前にログイン情報をお送りします。大会参加者は、大会特設サイトから総会のミーティングルームに入ることもできます。

研究発表に関する注意

発表方法その1【全員が行う発表資料による発表】

1. 研究発表の方法

発表者の作成した「発表資料」を大会特設サイトに掲示します。

ポスター、スライドなど形式はさまざまですが、いずれも PDF ファイルです。音声、動画の添付はありません。

2. 質疑応答の方法

大会参加者は、「発表資料」を読み込み、質問を行う場合はサイト内の掲示板機能を用いて質問を送ります。

発表者は、同じく掲示板機能を用いて回答をします。

質問者および発表者は、必ず氏名と所属を入力したうえで質問または回答をおこなってください。

座長はいませんので、会員相互に配慮しつつ、質疑応答を進めて下さい。

3. 質疑応答の期間

質疑応答の期間は11月20日（土）13時から11月22日（月）17時までです。発表者は、その間に寄せられた質問やコメントに対応してください。

終了間近の質問には回答できない場合もありますので、質問者は配慮して下さい。

い。

発表方法その2【希望者のみ行う Zoom 発表】

1. 研究発表の方法

大会特設サイトにログイン後、発表用 Zoom 会議室へ入って下さい。発表用 Zoom 会議室のログイン情報は、参加者全員に事前に送付しますが、大会特設サイト内からパスワードなしで移動することもできます。

Zoom での口頭発表は、15分（発表12分、質疑3分）です。

2. 質疑応答の方法

座長への依頼は大会事務局で行います。通常の学会発表と同様の要領で、座長の指示に従って質疑応答を行って下さい。発表、質問者ともに Zoom の操作はご自身でお願いします。

3. アクセステストについて

Zoom 発表者は、事前にアクセステストを行うことができます。事務局からの連絡をお待ち下さい。

※大会期間中のお問い合わせ先：afs72meetingoffice@applforsci.jp（事務局）

即時の対応はできかねる場合があります。あらかじめご了承ください。

※このほか、発表上の注意点や詳細については学会 HP および大会特設サイトに掲示しますので、参照して下さい。

研究発表「発表資料揭示」

11月20日(土)13:00～11月22日(月)17:00

番号	部門	演題と発表者氏名
A01	<u>林政</u>	野生鳥獣の地域資源管理システムの導入に向けた基礎的考察 —ニホンジカの食資源化を背景に— 古賀達也・関根諒
A02	<u>林政</u>	農林業センサスによる森林施業実施状況に関する一考察 —全国森林計画の広域流域別検討— 松下幸司・田村和也
A03	<u>林政</u>	民有林の細分化に関する数量的分析—滋賀県の森林簿を用いて— 松下幸司・高橋卓也・林珠乃
A04	<u>林政</u>	放任される鎮守の森—金刀比羅の山林は誰が守るべきなのか— 西角彩貴・藍場将司・原田一宏
A05	<u>経営</u>	シカ防除資材を考慮した林業採算性の評価 北原文章・野宮治人
A06	<u>経営</u>	LiDARによる地形情報を用いた森林資源量予測 牧本卓史
A07	<u>経営</u>	林分内の局所密度と単木の胸高直径成長について 田中邦宏
A08	<u>利用</u>	勾配および道路からの距離との関係から捉えた森林管理の現状と課題 —QGISによる空間分析の結果から— 中川宏治
A09	<u>立地</u>	異なる斜面位置のヒノキ林における20年間の種子生産 中西麻美・稲垣善之・大澤直哉・柴田昌三
A10	<u>育種</u>	スギ精英樹さし木苗の水分生理特性と選抜地気候との関連性 河合慶恵・岩泉正和・久保田正裕・笹島芳信・五十嵐秀一・市栄智明・池田武文

番号	部門	演題と発表者氏名
A11	造林	森林・林業での現代数学の適用の可能性 上原巖
A12	造林	センダン育苗時の容器容量と施肥量が苗木サイズに及ぼす影響 安達直之・陶山大志
A13	造林	湿処理が少花粉スギ・ヒノキ種子の α -アミラーゼ活性と発芽に与える影響 藤原直哉
A14	造林	岡山県北部における早生樹等の植栽初期の生育状況 新原一海
A15	造林	低密度植栽に対する島根県内の森林組合の意向と今後の課題 高橋絵里奈・佐藤玲音・高橋さやか
A16	造林	愛媛県松山市での放置モウソウチク林の地上部バイオマスの経年変化Ⅲ —17年間のデータ— 豊田信行
A17	生態	人工林択伐跡地における天然更新初期段階の更新木の侵入状況 —群集構造と空間分布の分析— 中川宏治
A18	生態	強度間伐を行った森林におけるニホンジカの出現頻度 土井裕介・石井亘
A19	保護	気象による影響を受けにくいシカ侵入防止柵の検討 三枝道生
A20	緑化	植生防護柵を撤去した森林斜面における下層植生の衰退が表土移動に及ぼす影響 小島永裕・三井香代子
A21	林業 技術	緩効性肥料施肥量の違いがヒノキコンテナ苗の生育に与える影響 杉本博之・緒方美月・小野谷邦江・渡邊雅治

研究発表「Zoom」

11月20日(土)13:00~13:45

時刻	番号	部門	演題と発表者氏名
13:00~13:15	Z01	<u>林政</u>	放任される鎮守の森—金刀比羅の山林は誰が守るべきなのか— 西角彩貴・藍場将司・原田一宏
13:15~13:30	Z02	<u>経営</u>	林分内の局所密度と単木の胸高直径成長について 田中邦宏
13:30~13:45	Z03	<u>育種</u>	スギ精英樹さし木苗の水分生理特性と選抜地気候との関連性 河合慶恵・岩泉正和・久保田正裕・笹島芳信・五十嵐秀一・市栄智明・ 池田武文

第72回 応用森林学会 研究発表プログラム(WEB版)

発 行 日:令和3年11月5日

発 行:第72回応用森林学会大会実行委員会
〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学フィールド科学教育研究センター内

大会実行委員長:徳地直子

大会実行委員:坂野上なお、徳地直子、長島啓子、中西麻美、長谷川尚史、
古田裕三、松下幸司、吉村真由美(五十音順)